

## ◆ 2020 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：秩父ミュージズパーク公園インストラクター

23A-22

代表者：代表 内藤 定芳

URL： 秩父環境観光コラボレーション (rough-moji-2930.sunnyday.jp)

### 1. 活動が必要とされた状況

蝶をはじめとした昆虫が減少していることが指摘されている。生物多様性やSDGsと、スローガンは大きく謳われるが、実際に生物の生存のための保護活動や方策はほとんど提唱されないのが実状である。

秩父は国立公園や県立自然公園を多く抱えており、多種多様な生物が生存しているが、体系的で系統的な、しかも親しみやすい環境学習教材が不足していることが、地元住民の不満になっている。

秩父でも、秩父ミュージズパークをはじめ様々な場所で観察会が行われ、愛好家にも好評である。しかし、一般の市民にまでは十分な浸透がなされていない。一昨年、「秩父野鳥写真コンクール」を実施し好評を頂いた。寄せられたその写真を元に、「秩父の野鳥とバードウォッチングの手引き」を発刊した。一月半で500部を市民が手にしてくれた。

「秩父の野草(岩田豊太郎監修)」、「秩父地方の巨樹名木の研究」、「秩父の野鳥とバードウォッチングの手引き」に続く、「秩父の蝶と観察ハンドブック」として第IV集にしたいと考えている。蝶好きな人が増えてその保護の方法も考えてくれることを目標にした。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- (1) 令和2年8月1日～10月20日までの予定で、蝶の写真を募集した。写真は、1種につき1枚、10年程度、秩父地域で撮影、生きている蝶と、条件をつけた。
- (2) 11月12日の写真展開催に向け、応募作品274点を急ぎエクセルで整理し、応募票をコピーした。
- (3) 10月30日(金)、午後審査会を実施したところ終了できず、11月1日に、二回目の審査会を実施することになった。市長賞3点の候補作品と、30点の入賞作品を選定した。
- (4) 「秩父と甲武信ユネスコエコパークの蝶の蝶写真コンクール」を、11月12日(木)～16日(月)、矢尾百貨店で開催した。
- (5) 12月1日～年末まで、秩父ミュージズパークの多目的ハウスで展示会場を貸していただけることになり、緊急に展示会を催した。



↑ 写真展会場の美術サロン

### 3. 活動の成果

- (1) 矢尾百貨店では5日間で320名、ミュージズパークでは650名の参観者があった。
- (2) 蝶の美しさ、どこで見られるのか、保護の重要さなどの感想意見をいただいた。今後発刊予定のハンドブックで詳細を述べた。なお、A4の作品はA3にして展示した。

### 4. 今後に残された課題

令和3年3月10日付けで発行予定の報告書兼ハンドブックを編集中である。部数は500部。マスコミ等にも広報して、県内外に保護の重要性を啓発していきたい。